

●オサムシタケ (*Tilachlidiopsis nigra*)

神社の参道の脇にオサムシタケの子実体が生えているのを発見しました。掘り起こしてみますと、子実体が生えたオサムシの仲間の幼虫を見つける事が出来ました。

オサムシタケはオサムシの仲間の幼虫と成虫の双方に寄生する不完全型の子嚢菌類(アナモルフ)の仲間です。関東地方で多く見る事が出来ます。名古屋近辺では今まで見た事ありません。

●オサムシタケ (*Tilachlidiopsis nigra*)



オサムシタケの子実体の柄部は黒色で弾力に富む繊維質です。この柄部から白色の虫ピン状のシンネマが側生し、シンネマの先には分生子(無性胞子)が形成されます。

オサムシタケは不完全型(アナモルフ)なのですが、稀に完全型(テレオモルフ)の「オサムシタンポタケ」が発生する事もありまして、この場合、有性胞子を生み出す結実部は柄部の先端に形成されます。